



廃リードを使用した和紙の作成

要旨

木管楽器で吹き口に使用する消耗品“リード”は、高価であるが、竹で作られている上に、先端の厚さがとても薄いので、割れやすく、欠けやすい。しかし、少しの割れや欠けで使い物にならなくなる。私は、使えなくなったリードを、そのまま捨ててしまうということが問題であると考えた。本研究では、廃リードの有効活用を目的とし、その達成の方法として、廃リードを使用した和紙の作成を計画し、実行した。

研究背景

☆リードって何？

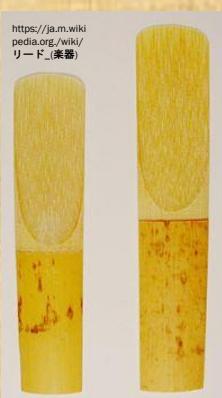
木管楽器の吹き口に使用する消耗品

単価が高い

↓
原材料が竹
先端の厚さが薄い

↓
割れやすく、欠けやすい
使い物にならなくなる

廃リード→もったいない



リサーチクエスチョン

廃リードを有効活用する方法は？

仮説

廃リードを使って、和紙を作ることはできるのか

* リード和紙作成上の問題

1 和紙作成の技術・経験がない

→牛乳パックを使用した和紙作成

！和紙作成の流れ・和紙作成上の課題を把握

気づいたこと

- ・繊維質にする作業は大変難しい
- ・紙漉きをする技術が乏しい→紙漉きの技術向上

→指導依頼 皆田和紙紙すき文化伝承館

！紙漉きのコツをつかむ

！実際の和紙作成の現場を見る

！リード和紙作成に生かせることを見つける

取り入れた知識

トコロ菜の汁・水気を取り方



2 竹から和紙を作成できるのか

→協力依頼 竹虎(株)山岸竹材店：竹から和紙作成

判明したこと

- ・竹を小さく切断する
- ・竹をふやかすのに、竹を水につける
- ・竹の形が全くなり、繊維質だけにする

リード作成方法

①リードを水につける

- 1 リードを彫刻刀で削る
- 2 水につける(約2か月)



②繊維質にする→下記の i, ii の作業を繰り返す

i 繊維質と繊維質以外に分別

- 1 水につけていたものから水だけを取り出す
- 2 繊維質のみを残す
- 3 繊維質を溜める

ii 繊維質以外を細かくする/再度水につける

- 1 より小さくする
- 2 すりつぶす・たたく
- 3 水につける



③紙漉き

- 1 紙漉き枠の制作
- 2 繊維質と水を入れる
- 3 洗濯糊を入れる
- 4 紙漉きをする
- 5 網を取り出す
- 6 水気を取る
- 7 一晩乾かす



結果

和紙は作れたが、粉々になりやすい

- ・原材料が少ない
- ・リードをつぶし切れていない

解決策の案

- ・原材料を多くする
- ・表面をコーティングする
- ・より細かくリードを砕く
- ・つなぎを入れる

結論・まとめ

- ・廃リードがもの作りに活用できることが判明
- ・吹奏楽に還元できる商品づくり

参考文献・協力依頼先

<https://www.taketora.co.jp/diary/2015/03/post-2774.html>

<http://www.meg-snow.com/fun/make/craft/craft10.html>

<https://ecology.canon/ecokids/seed/craft-paper.html>

<https://local-history-museum-86.business.site/#summary>

http://sciyoji.site/sciyoji/soko_paper_milkpack/

https://fm-Kyoto.jp/blog/daylight_call-post4421/

竹虎(株)山岸竹材店 (〒7850024 高知県須崎市安和931-1)

皆田和紙紙すき文化伝承館 (〒6795523 兵庫県佐用郡佐用町上月373)